

臨時農業生産情報

(大雨と雷及び突風に対する技術対策)

令和6年10月18日
青森県「農林水産力」強化本部

青森地方気象台発表(2024年10月18日16時33分)「大雨と雷及び突風に関する青森県気象情報 第1号」によると、青森県では、大気の状態が非常に不安定となるため、19日朝から昼過ぎにかけて、大雨となる所がある見込みです。また、竜巻などの激しい突風や落雷、ひょうに注意してください。

今後の気象情報に十分注意し、次の点に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

なお、ほ場の見回り等については、危険な場所には近づかず、安全を十分確保して慎重に行ってください。

【事後対策】

1 共通の対策

- (1) 地盤が緩み崩壊の恐れがある農地・林地及び農道・林道並びに増水中の河川などには、絶対に近寄らないようにする。なお、異常を発見した場合は、速やかに市町村等へ連絡する。
- (2) 浸水や冠水したほ場・園地では、明きょやポンプにより速やかに排水する。
- (3) 大雨の影響で土壌がぬかるんだ状態になっている場合は、転倒や車両の横滑りなどが発生しやすいので、農作業事故防止に努める。

2 りんご・特産果樹

- (1) 園地が冠水した場合は、できるだけ早く、果実や葉に付着したゴミを取り除き、泥を清水で洗い落とす。また、有袋果は除袋してから、これらの管理を行う。
- (2) 倒伏した樹は、できるだけ早く起こして、支柱で支える。
- (3) ぶどうの垣根、支柱等が倒れた場合は、速やかに補修する。
- (4) 果実を加工用に仕向ける場合は、農薬使用基準上の問題がないことを確認する。

3 野菜・花き・畑作

- (1) ながいもの支柱が倒れたり、植溝が陥没した場合は、速やかに修復する。
- (2) ほ場やビニールハウスを点検し、被覆資材やパイプ等の損傷がある場合は速やかに修復する。
- (3) いちごなど果菜類で浸水・冠水した場合には、泥を清水で洗い流し、マルチの裾を上げて、株元を乾かし、浸水した果実は早急に取り除く。
- (4) 強風や浸水・冠水等により損傷を受けた場合は、病気が蔓延しないよう、薬剤を散布する。

4 畜産

- (1) 畜舎が浸水した場合は、家畜伝染病の発生を予防するため、消毒を徹底する。
- (2) ロールペールサイレージのストレッチフィルムが破損した場合は、破損部分を速やかに補修するとともに、できるだけ早く家畜に給与する。
- (3) 降雨後、飼料畑に停滞している水は、速やかに排水する。
- (4) 浸水等の被害を受けた飼料は、品質を見極め、十分注意して給与する。
- (5) 倒伏した飼料用とうもろこしで、今後の回復が見込めない場合は速やかに収穫・調製する。

5 農地・農林業用施設

- (1) 農地・林地・農林業用施設が被災した場合は、速やかに被災状況を市町村へ報告する。
- (2) 被災した農地・林地及び農林業用施設は、身の安全を確保した上で、シートで被災箇所を覆うなど、被害が拡大しないよう努める。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(共通の対策、農地・農林業用施設) 林政課治山・林道グループ GM 熊木 義秀 農村整備課防災・積算グループ GM 安田 直樹 (水稲・畑作) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 成田 真樹 (りんご・特産果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘 (野菜・花き)【発行元】 農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 三村 葉子
電話番号	(共通の対策、農地・農林業用施設) 林政課 直通 017-734-9524 内線 4849 農村整備課 直通 017-734-9556 内線 4890 (水稲・畑作) 直通 017-734-9480 内線 5073 (りんご・特産果樹) 直通 017-734-9492 内線 5146 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕 (内線：4966) 次長 栗林 豊 (内線：4967)

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」
に掲載



農ナビ青森 QRコード